

佐渡の純米吟醸 5銘柄飲み比べ CFでセット販売



5銘柄を飲み比べ
できる「佐渡五醸」

佐渡市内の酒造5社でつくる佐渡酒造協会は、純米吟醸酒5銘柄の飲み比べができるサービス「佐渡五醸」を始め、クラウドファンディング(CF)で限定販売している。コロナ禍で落ち込んだ需要を回復し、世界農業遺産に登録されている佐渡島の米と水で醸し出された酒を世界に売り込む。

5社は加藤酒造店と逸見、尾畑、天領盃、北雪各酒造。

CFサイト「Makuake」を利用し、必要な資金を集める。「金鶴」「真稜」「真野鶴」「天領盃」「北雪」の各純米吟醸酒(720ミリットル瓶)計5本をセットにして1万円販売するなどしている。佐渡島をデザインした共通

ラベルを使用し、わきにはそれぞれの銘柄を記した。

6日には佐渡酒造協会長の逸見明正・逸見酒造社長ら5社長らがそろって記者会見した。「杯を重ねるはどよまみが増す」(平島健・尾畑酒造社長)など各社とも「佐渡五醸」向けに特別に醸造した点をアピールした。同席した渡辺竜五市長は「世界に認知されるようにトップセールスします」と励ました。

佐渡市内の酒造5社が協力して製品を販売するのは初めてという。今回はインターネットで2月末までの限定販売だが、結果を見て通常ルートでの販売も検討する。(古西洋)